

「掃除をする」

校長 村上俊二

神石小学校のことも、よく掃除をします。掃除開始時刻前には割り当てられた掃除場所に行き、縦割り班で黙々と時間いっぱい掃除します。

世界的に見ると、児童生徒が自分で学校掃除を行う国は全体の約三割で、業者等に任せている国が六割近くという統計を見ました。

日本の掃除文化は、昔からある茶道や華道、柔道や剣道などで、自分たちが使う場を自らきれいに保つことを大切にしてきたことにも起源があるといえます。稽古の前後に必ず心を込めて掃除することは、心の修行でもあり、その「道」の達人になることは、人としても尊敬を受ける人間になるということでもあります。

また、掃除は、自分の身の回りをきれいにするという日本人の行動の源にある「モラル」でもあります。すなわち「世間に迷惑をかけない」という日本人の精神風土からなされた自然な行動なのです。

冬休みは、年末・年始という節目でもあります。家族で自分の身の回りを心を込めて掃除したいものです。